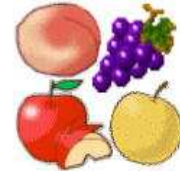




平成24年度 果樹情報 第3号

(平成24年4月25日)



福島県農林水産部農業振興課

1 気象概況 (4月中旬: 果樹研究所)

4月中旬の平均気温は3半旬が10.1℃で平年より0.6℃低く、4半旬が9.9℃で平年より1.6℃低い状況でした。この期間の降水量は8.0mmで平年の25%でした。

2 土壌の水分状況 (4月22日現在)

果樹研究所における土壌水分 (pF値: 無かん水・草生栽培リンゴ園) は、深さ20cmが2.0、深さ40cmが1.8、深さ60cmが1.8で、適湿条件の範囲です。

3 発育状況 (果樹研究所)

(1) モモの「あかつき」は、開花直前の状況である。

(2) ナシ「幸水」の展葉は4月18日で平年より1日遅く、「豊水」の展葉は4月16日で平年より4日遅い状況でした。

(3) リンゴ「つがる」の展葉は4月14日で平年より3日遅く、「ふじ」の展葉は4月13日で平年より3日遅い状況でした。

(4) オウトウ「佐藤錦」の発芽は4月5日で平年より5日遅い状況でした。

表1 発芽・展葉状況

| 樹種 | 品種 | 発芽 | | | 展葉 | | |
|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 本年 | 平年 | 昨年 | 本年 | 平年 | 昨年 |
| モモ | あかつき | 3月31日 | 3月26日 | 3月28日 | — | — | — |
| | ゆうぞら | 3月30日 | 3月27日 | 3月29日 | — | — | — |
| ナシ | 幸水 | 4月10日 | 4月3日 | 4月8日 | 4月18日 | 4月17日 | 4月16日 |
| | 豊水 | 4月9日 | 3月31日 | 4月7日 | 4月16日 | 4月12日 | 4月13日 |
| リンゴ | つがる | 4月1日 | 3月27日 | 3月30日 | 4月14日 | 4月11日 | 4月14日 |
| | ふじ | 4月3日 | 3月29日 | 3月31日 | 4月13日 | 4月10日 | 4月12日 |
| オウトウ | 佐藤錦 | 4月5日 | 3月31日 | 3月31日 | — | — | — |

注) 平年は1981~2010年 (オウトウは1994~2010年) の平均値。

4 開花予測 (果樹研究所)

モモ「あかつき」は近日中に開花する見込みである。

また、今後の気温が平年並みに経過した場合、ナシ「幸水」の開花始めは4月27日頃で平年より4日遅く、リンゴ「ふじ」の開花始めは5月2日頃で平年より5日遅いと予測されています。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるため注意が必要です。

表2 開花予測日 (4月21日現在)

| 樹種 | 品種 | 開花始め | | 今後の気温経過と開花予測日 | | |
|-----|----|-------|-------|---------------|-------|-------|
| | | 昨年 | 平年 | 平年並み | 2℃高い | 2℃低い |
| ナシ | 幸水 | 4月25日 | 4月23日 | 4月27日 | 4月26日 | 4月29日 |
| リンゴ | ふじ | 5月1日 | 4月27日 | 5月2日 | 4月29日 | 5月4日 |

注) 発育速度 (DVR) モデルによる発育予測。平年は1981~2010年の平均値。

東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成24年4月20日発表)より

今後の気温経過は、1週目（4月21日～4月27日）は平年より高い確率が60%、2週目（4月28日～5月4日）は平年より高い確率が50%、3～4週目（5月5日～5月18日）は平年並の確率が40%となっています。

5 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

開花期から幼果期にかけては、耐凍性が最も弱くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

事前対策としては、防霜資材の準備を徹底しましょう。また、下草は4月中旬以降をめぐりに5cm程度（地際部まで刈ると放射性物質をまきあげのおそれあり）に刈り込むとともに、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を確保しましょう（乾燥条件は気温の低下が著しいため）。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実を確保してください。

果樹の凍霜害対策のための温度指標

果樹の凍霜害対策のための生育ステージ別温度指標を、農業総合センター果樹研究所ホームページに掲載していますので、参照してください。アドレスは以下のとおりです。

<http://www.pref.fukushima.jp/kajyu-shiken/homepage.htm> で、メニューの「技術資料」をクリックしてください。

果樹の現在の生育ステージ

農業総合センター（本部、果樹研究所、会津地域研究所、農業短期大学校）の果樹類の生育ステージを、農業振興課・農林地再生対策室ホームページに掲載していますので、参照してください。アドレスは以下のとおりです。

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=11224 で、トピックスから「果樹の現在の生育ステージ」をクリックしてください。

(2) 人工受粉

開花期が低温や強風、乾燥条件で経過すると結実が劣る場合があるので、このような条件下では人工受粉をより丁寧に行ってください。

人工受粉の際に、花粉を石松子などで増量する場合には事前に発芽率を確認し、発芽率に応じた希釈倍数で調整してください。なお、発芽率30%以下の花粉は希釈しないでそのまま使用してください。

6 病虫害防除上の留意点

(1) 病害

ア リンゴ黒星病、うどんこ病

開花期前後は黒星病およびうどんこ病の重点防除時期に当たるため、開花直前にE B I剤を散布して病原菌の密度低下、被害防止に努めましょう。

イ モモせん孔細菌病

第一次伝染源の春型枝病斑は開花期以降に発生し、降雨に伴って病原菌が分散し新梢葉に感染します。昨年発生が認められた園では、落花直後にせん孔細菌病防除剤を必ず散布し、初期感染防止に努めましょう。

また、発生を最小限に抑えるために春型枝病斑は見つけしだい必ずせん除しましょう。

ウ ナシ黒星病

開花前の花托および開花後約2週間までの幼果は、本病に対する感受性が非常に高く、重

要防除時期となります。開花前後に本病に効果が高いE B I 剤を散布間隔が10日以上開かないように散布しましょう。

なお、天候の影響等で散布間隔が10日以上開くことが予想される場合には、落花を待たず受粉が十分に行われた後（満開5日後頃）に開花後の防除を行いましょ。

また、第一次伝染源となる花そう基部病斑は見つけしだい必ず除去しましょ。

(2) 虫害

ア モモハモグリガ

今後、気温が平年並みに推移した場合、第1世代幼虫の防除適期は5月1半旬と推察されます。ミツバチ等の導入園では巣箱回収後、速やかに防除を行いましょ。

イ ハマキムシ類

今後、気温が平年並みに推移した場合、リンゴモンハマキ越冬世代成虫の誘殺盛期は5月5半旬と予測され、リンゴコカクモンハマキもこれに準ずると推察されます。

複合交信かく乱剤はハマキムシ類越冬世代成虫の発生前である5月3半旬頃までに設置しましょ。

ウ その他鱗翅目害虫

ナシヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺は4月23日現在確認されておらず、平年に比べ2週間以上遅い発生状況です（平年値は4月9日）。

防除時期が遅れないよう5月2半旬までに防除を実施しましょ。キンモンホソガもこれに準じて防除を実施しましょ。

エ リンゴハダニ

今後、気温が平年並みに推移した場合、リンゴハダニのふ化盛期は4月6半旬頃と予測されます。

越冬卵密度の高い園では、落花期以降の発生密度に注意し、要防除水準（1葉当り雌成虫1頭以上）に達したら殺ダニ剤を散布しましょ。

表3 果樹研究所における主要害虫に対する防除時期の推定

(演算方法は三角法・平成24年4月22日現在)

| 今後の気温予測 | モモハモグリガ | | リンゴモンハマキ | |
|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 越冬世代 誘殺盛期 | 第1世代 防除適期 | 越冬世代 誘殺盛期 | 第1世代 防除適期 |
| 2℃高い | 4月28日 | 5月3日 | 5月18日 | 5月31日 |
| 平年並み | 4月28日 | 5月4日 | 5月24日 | 6月6日 |
| 2℃低い | 5月1日 | 5月8日 | 6月2日 | 6月17日 |

起算日：3月1日

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょ。